

製品安全データシート

会社名：赤城物産株式会社
住所：東京都世田谷区経堂三丁目8番11号
緊急連絡先：赤城物産株式会社（事務所）
住所：東京都千代田区神田和泉町1番地1-7
東陽ビル2階
電話番号：03-3866-0306
FAX 番号：03-3866-1835

【整理番号】

作成 1999年6月21日
改訂 2013年6月10日

【製品名】 グリホエクス液剤®

【物質の特定】

単一製品・混合物の区分： 混合物

有効成分：

化学名；イソプロピルアンモニウム=N-(ホスホノメチル)グリシナート・・・41.0%
水、界面活性剤：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59.0%

化学式； $C_6H_{17}N_2O_5P$

CAS 登録番号； 38641-94-0

国連分類； 該当せず

【危険・有害性の分類】

分類の名称： 該当せず

危険性： 該当せず

有害性： 眼に入った場合、軽度の刺激がある。

環境影響： 本剤は非選択性の除草剤であり、大量に漏出した場合は周囲の有用植物に対する影響を避けるため、流亡を防止する。

【応急措置】

眼に入った場合： 直ちに清浄な水で最低15分間洗眼する。痛みが残る場合は、医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合： 汚染した衣類、靴などを脱ぎ、触れた部分を水でよく洗う。

飲み込んだ場合： 直ちに水または牛乳を飲ませ、医師の手当を受ける。

【火災時の措置】

消火方法： 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火器などを用いる。大規模火災の場合は、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な場合は、すみやかに安全な場所に移す。

消火作業の際には必ず保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。

消化剤： 水、泡、粉末、炭酸ガス

【漏出時の措置】

- ・ 漏出物の除去にあたっては、ゴム長靴またはオーバーシューズの着用等、【暴露防止措置】の項に記載の保護具を着用する。
 - ・ 少量の場合、漏洩液はおがくず、ウエス、砂などに吸着させ、空容器に回収する。
 - ・ 多量の場合、土砂などで流亡を防止し、吸収、拭き取り、吸引等によって回収する。周囲の有用植物に漏出液が流入しないよう注意する。
 - ・ 回収後の漏出部位を水等で洗浄する場合も、洗浄液が周囲の有用植物に流入しないよう注意する。
 - ・ 漏出液がしみこんだ土壌は掘り取り、金属製ドラム等に入れ、【廃棄上の注意】の項にしたがって処分する。漏出した容器は、漏出しない容器と分け、内容物を別の容器に移し、空の容器は【廃棄上の注意】の項にしたがって処分する。回収した漏出液も同様に処分する。
-

【取扱いおよび保管上の注意】

- ・ 眼および皮膚に軽度な刺激性があるので、眼に入ったり、皮膚につかないよう注意する。
 - ・ 取扱い後は、手や顔を水でよく洗う。
 - ・ 水系、有用植物に飛散または流入しないよう注意する。
 - ・ 廃液または散布器具の洗浄液を水系に流さない。
 - ・ 保管の際は、直射日光を避け、鍵をかけた場所に保管する。
-

【暴露防止措置】

設備対策： 特別な対策は必要としない。

保護具： 保護眼鏡、長袖の作業衣、長ズボンを着用する。

暴露基準：

産業衛生学会： なし

OSHA PEL： なし

ACGIH TLV： なし

【物理／化学的性質】

外観： 黄色水溶性液体

臭気： 弱いアミン臭

比重： 1.172

pH： 4.8

溶解度： 水に可溶

【危険性情報】(安定性・反応性)

引火点：

発火点：

安定性： 安定

【有害性情報】

急性毒性： 経口 ラット LD₅₀ ♀♂ >5000mg/kg、マウス LD₅₀ ♀♂ >5000mg/kg

経皮 ラット LD₅₀ ♀♂ >2000mg/kg

吸入(ミスト) ラット LC₅₀♂2.64ml/m³、♀3.80ml/m³

刺激性： 眼一次刺激性 (ウサギ)

希釈しない製剤は軽度の刺激があるが、20 倍に希釈すると刺激性はない。

皮膚一次刺激性 (ウサギ)

未希釈の製剤は軽微な刺激あり。

感作性： モルモットに対して陰性

変異原性： 各種の試験で陰性

遅発性神経毒性： 陰性

亜急性、慢性毒性：

亜急性毒性試験として、ラット、マウスおよびビーグル犬を用い、原体の3カ月間経口投与試験が行われている。

ラットを用いた試験では、高用量で下痢または軟便、飲水量の増加、尿pHの酸性化、体重増加の抑制、各種血液学的および血液生化学的パラメータの変化、肝および腎重量の増加、盲腸、肝、腎に肉眼的または病理組織学的変化が認められている。

マウスを用いた試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、摂餌量の減少が認められている。

ビーグル犬を用いた試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、GOT値の軽度な増加、回腸および直腸に病理組織学的変化が認められている。

慢性毒性および発がん性試験として、ラットを用いた慢性毒性/発がん性試験、マウスを用いた発がん性試験およびビーグル犬を用いた慢性毒性試験が行われている。

ラットを用いた慢性毒性/発がん性試験では、高用量で下痢、軟便、尿に対する影響、体重増加の抑制および血液学的影響、および病理学的影響が認められている。

マウスを用いた発がん性試験では、高用量で軟便、体重増加の抑制、摂餌量の減少、直腸および腎の非腫瘍性病変の増加が認められている。

発がん性を示唆する変化は認められていない。

ビーグル犬を用いた慢性毒性試験では、高用量で便性状の異常を中心とした変化が認められている。

繁殖試験および催奇形性試験：

繁殖試験として、ラットを用いた2世代の試験が行われている。高用量では親動物で下痢、体重増加の抑制、摂餌量の減少、消化管に肉眼的および病理組織学的影響が認められ、仔動物では、体重増加の抑制が認められている。繁殖性については、影響が認められていない。

催奇形性試験として、ラットおよびウサギで試験が行われている。いずれの試験でも

最高投与量で催奇形性は認められていない。

【環境影響情報】

生態毒性

魚毒性： コイ急性毒性 96 時間 LC₅₀ 7.50mg/L

その他： オオミジンコ急性遊泳阻害 48 時間 EC₅₀ 60.4mg/L

藻類生長阻害 72 時間 ErC₅₀ 90.2mg/L

【輸送上の注意】

- ・ 運搬に際しては容器に洩れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 - ・ 農薬取締法に定めるところに従う。
-

【廃棄上の注意】

- ・ 散布器具、容器の洗浄液は河川等の水系に流さず、空の容器は環境に影響を与えないよう安全に処理する。
 - ・ 薬液が残らないよう、必要量を希釈し、希釈液は全て散布する。
 - ・ 空になった容器は水で洗浄し、洗浄液は散布液に加えて全量を使用する。
-

【適用法令】

農薬取締法：除草剤、農林水産省登録 第 18813 号

化 審 法：既存化学物質 N-(ホスホノメチル)グリシン
